◆４月の主な行事◆
8日 始業式
11日 入学式
13日 交通安全教室：1年生
22日 避難訓練
28日 授業参観・懇談・ PTA総会

<教育目標>　自律 自啓　自尊 他尊

東雲

http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/

【発行者】
栃木県鹿沼市立東中学校
住所 鹿沼市府中町393
電話 0289-62-7225
FAX　0289-62-7226
校長　斎藤美智雄

感覚を豊かに

校長　斎藤美智雄

北京五輪のスノーボード男子ハーフパイプで平野歩夢選手が見事金メダルを獲得しました。そこでみせた大技トリプルコーク1440は見ている人に驚きと感動を与えました。東京五輪のスケートボードなども同様にアクロバティックな高さと回転、バランス等が求められる競技での、日本人選手の活躍が光りました。

回転感覚や平衡感覚などの運動感覚をはじめ、言語感覚、数や数量、図形感覚、色彩感覚、リズム感覚など様々な感覚がありますが、これらは幼少期から発達段階に応じて育んでいくことが大切とされています。

ところで、学校では、確かな学力として基礎的な知識・技能の確実な習得や、思考力・判断力・表現力の育成に努めています。しかし、このような力を支えるためには感覚を豊かにすることが重要です。特に、幼少時から青年前期にかけてこそ、その効果は高まるとされています。

さらに、感覚にはバランス感覚、国際感覚、時代感覚、人権感覚など人間性を豊かにするのに欠かせないものもあります。

そこで、豊かな感覚を育むために、日々の授業等では、五感を十分に生かした学習や様々な体験学習を行っています。活動時間に応じたＢＧＭ。図書室では本のデザイン等を生かした色彩鮮やかな配置など感覚を豊かにする工夫や環境づくりも行っています。

このような感覚の育成は、学校のみならず、家庭での学習、経験、生活習慣も大切です。学校と家庭で相互に補完し合いながら生徒達の感覚を豊かにしていければと思います。

この一年間、保護者や地域の皆様には、本校教育に対し、深い御理解と御支援・御協力を賜り、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

卒業式

三月十日(木)、天候に恵まれ、卒業式を行いました。コロナ禍での卒業式でしたが、感染症対策を十分に行い、在校生による「卒業生を送ることば」や生演奏、サプライズビデオなど心のこもった卒業式となりました。

卒業証書授与では、呼名の際２８１名の生徒が感謝の気持ちを込めて返事をして立ち、立派に成長した姿を見せてくれました。その立派な姿に担任の先生は涙で声を詰まらせる程でした。

卒業生代表の石原杏優くんの「わかれのことば」の中に、「この三年間で強く、賢く、逞しく、そして優しくなった」とありました。まさにその通りで、コロナ禍で制約を受けた三年間だったからこそ、卒業生は沢山のものを身につけることができました。また卒業生の式中の態度・行動の一つ一つに、感謝の気持ちがあふれ、それが、式場にいるすべての人に感動として伝わったのではないかと思います。

これまでの三年間、御家庭の御理解と御協力を得て、無事卒業を迎えることができました。大変感謝しております。

２８１名の卒業生が東中を巣立ちました。今後も、さらなる活躍を期待し、いつまでも応援し続けたいと思います。

第三学年主任

立志式・テーブルマナー教室

三月十五日（火）に立志式・立志記念行事（テーブルマナー教室）を実施しました。

立志式では、未来に向けた想いや自分を大切に見つめ、高め続けていこうという意志に満ちた発表を、以下の代表生徒が行いました。

○意見発表
・武田　倖季さん　坪子　さくらさん
○立志式学年スローガン発表
・実行委員長　高橋　諒さん
○クラス決意の言葉発表
・武藤　煌諄さん　白井　涼葉さん
・郡司　和真さん　金田　嵐さん
・松本　渉夢さん　塩澤　迦莉夏さん
・飯村　莉帆さん　鳥居　煌平さん

ホテル東日本宇都宮で行ったテーブルマナー教室では、緊張しながらも、おいしい本格的なコース料理を堪能し、マナーを学

び、一つ大人の階段を上がったことと思います。

第二学年主任

令和三年度を振り返って

○第一学年

着慣れない制服に身を包み、初々しかった一年生。入学当初は、学年３００人という人数の多さに戸惑ったり、友達とうまくいかなかったりしたこともあったかもしれません。中学校での生活もまもなく一年が経ち、すっかり中学生らしくなりました。

夢中になって部活動に取り組んだり、授業中真剣に学習に取り組んだりと、意欲的に活動している様子が多く見受けられ、成長が感じられます。この背景にあるのは、各自、目の前の壁に対して、逃げることなく、必死に自分の課題を乗り越えた事実で、御家庭での御支援に感謝いたします。

今後、成長の過程で思春期を迎え、難しい年頃になりますが、これまで同様、お子様達を支えていただきたいと思います。

最後に、いつも学校教育に協力していただき感謝しております。ありがとうございました。

第一学年主任

○第二学年

貴重な経験をたくさん積み重ねることができた一年でした。二学期に行われたこども・夢アートアカデミーやオリンピック教室での一流芸術家やオリンピアンとの触れ合い。マイ・チャレンジによる多くの事業所での職場体験学習。また立志式や記念行事を通した将来に向けての決意表明やマナーの向上など。多くの方々の御協力・御支援があって達成できたことに深く感謝申し上げます。

次年度はいよいよ卒業を迎える一年となりますので、学校の代表として手本を示せる最上級生となれるよう、学年全体で一致団結し、歩んでいきたいと思います。

第二学年主任

○第三学年

中学校生活の最後の一年。生徒の生活には、新型コロナウイルス感染症による様々な制約がありました。例えば楽しみな給食も、一切しゃべらない黙食です。しかし、この様な生活の中でも仲間との時間を大切にし、進路実現に向けて各自努力しました。一学期は、体育祭や地区大会、県大会が実施できました。体育祭ではクラスの絆を深めることができました。二学期、三年生にとって大きな行事となる修学旅行。実施時期は変わりましたが、京都と奈良に修学旅行に行けたことは生徒にとって大きな思い出になったと思います。

コロナ禍だからこそ、生徒たちはよりたくましく成長できたと思います。

中学校を卒業し、それぞれの道を歩んでいくことになります。今後も粘り強く自分の夢に向かって進んでいってほしいと思います。

第三学年主任

○クレッシェンド

特別支援学級では、自立活動の時間に以下の様な学習を行いました。

一学期は、ＳＳＴ（ソーシャルスキルトレーニング）に力を入れました。日常の具体的な場面を提示し、よりよい言動をみんなで考えました。

二学期は、よさこいソーランを練習し、教職員と保護者の方々に力強い演技を披露することができました。また、ステンドアートの制作を行い、作品展に出展しました。職員玄関正面に飾ってあります。来校した際には是非御覧ください。

三学期には、日頃の感謝を込めてカレンダー制作の総仕上げを行いました。全御家庭に配布予定です。使っていただけると幸いです。

今後も生徒一人一人に寄り添い、将来の自立に向けてともに歩んで行きたいと考えております。引き続き御協力をお願いいたします。

クレッシェンド主任

未来へ続くあゆみのために

三月七日、八日に県立高校一般選抜試験が実施され、十一日にその発表が行われました。今後は、県立高校の定時制課程や通信制課程の試験が実施されます。県立高校の次年度入試日程も公表され、二年生にとってはいよいよ受験に向けてスタートを切る時期となりました。立志の誓いを胸に、頑張っていただきたいと思います。

少しずつ新三年生や新二年生を対象とした高校受験説明会の案内が届いています。各高等学校で、学べる内容や入試のシステムが変化しています。興味・関心のある学校のホームページを確認したり、担任の先生に相談したりするなど、情報を集めるとよいと思います。

自分の未来に向けて一歩ずつ確実なあゆみを進めていけるよう、保護者の方ともよく話し合い、今後の目標を定めていけるよう応援したいと思います。

進路指導主事